大船渡湾内観測結果(No.7)

"今月の話題"

底層の溶存酸素飽和度が20%を下回った場所が複数ありました。 水温が過去の結果よりも高くなりました。 全ての観測点で過去の結果よりも塩分が高くなりました。

10月6日に実施した大船渡湾内観測結果をお知らせします。

2.5m層及び15m層(St.1及び4においては底層)の水温が過去の結果(平成25年~令和2年の10月の平均)よりも高くなりました。St.4~6の2.5m層においては過去の結果よりも3℃程度高くなりました。

全ての観測点において2.5m層及び15m層の塩分が過去の結果より も高くなりました。

底層の溶存酸素量が少なくなっています。St.1及び3では底層の酸素飽和度が20%を下回り、非常に低くなっていました。

海域名:大船渡湾

調査担当:水産技術センター

					1	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
観測点(St.)		1 (湾奥)	2(清水)	3 (珊瑚島)	4(蛸の浦)	5(船河原)	6 (片頭)
観測年月日		令和3年10月6日					
観測時刻		11:57	11:17	11:04	10:43	10:27	10:12
水深(m)		10.7	23.6	28.6	14.9	25.5	37.1
透明度(m)		3.0	5.5	4.0	6.5	5.0	5.0
水色		11	8	9	6	6	7
水温(℃)	表層	22.1	21.6	20.8	20.9	20.7	21.2
	2.5m層	21.7	22.0	21.7	22.5	22.1	21.6
	10m層	_	20.1	20.1	19.9	20.1	20.2
	15m層	_	19.8	19.6	_	19.8	19.8
	底層	19.9	19.2	18.7	19.8	19.1	18.3
塩分	表層	29.1	28.4	24.4	26.4	25.6	29.9
	2.5m層	33.6	33.5	33.4	33.1	33.2	32.8
	10m層	_	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0
	15m層	_	34.1	34.1	_	34.1	34.1
	底層	33.9	34.1	34.2	34.1	34.2	34.3
溶存酸素飽和度(%)	表層	126.7	129.3	131.4	119.4	122.2	115.6
	2.5m層	89.2	105.4	110.4	100.5	111.1	108.9
	10m層	_	90.7	86.6	84.2	94.9	96.9
	15m層	_	84.4	44.2	_	93.2	92.1
	底層	15.0	45.6	16.4	85.6	50.6	56.9

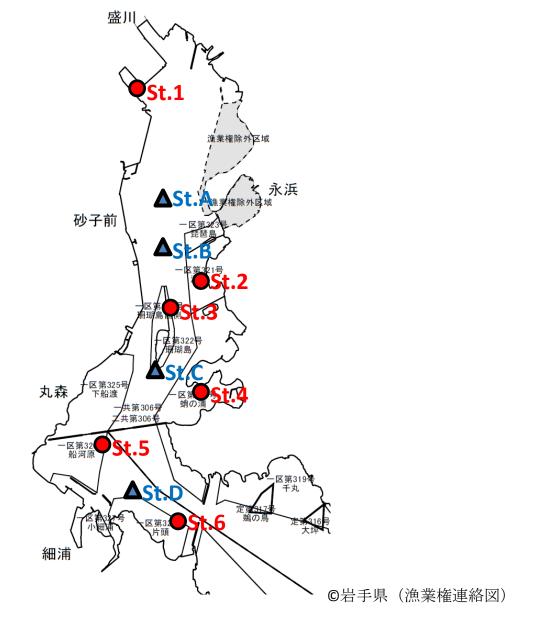
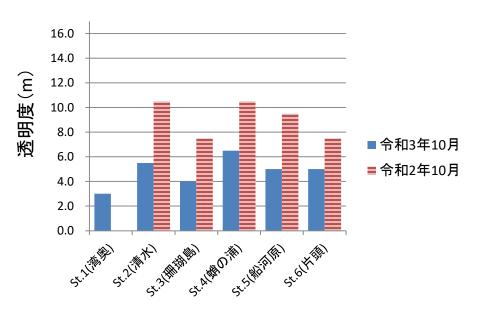


図1 大船渡湾調査定点図

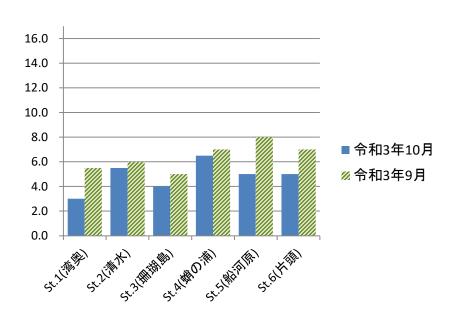
%St.1からSt.6(\bigcirc)において透明度の観測や表層0mから海底上1mの水質を観測した。 St.AからSt.D(\triangle)において表層0mから水深15mの水質を観測した。

前年同月との比較



- ・St.1を除く点で前年同月より高い
- · 令和2年10月のSt.1は欠測

前月との比較



- ・St.1及び5で前月より低い
- ・他の点では前月並み

図2 透明度の比較(前年同月、前月)

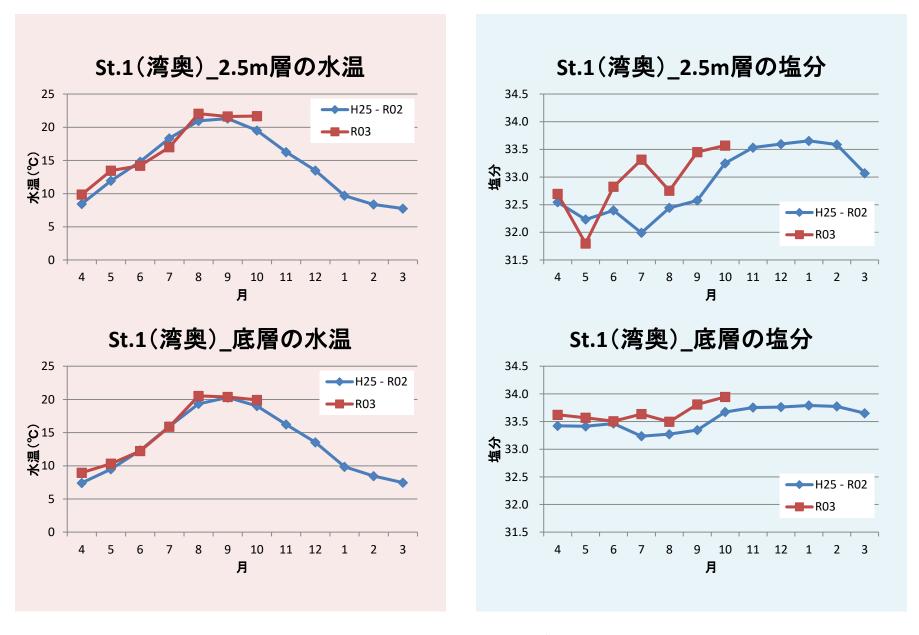


図3 St.1(湾奥)の水温及び塩分の推移

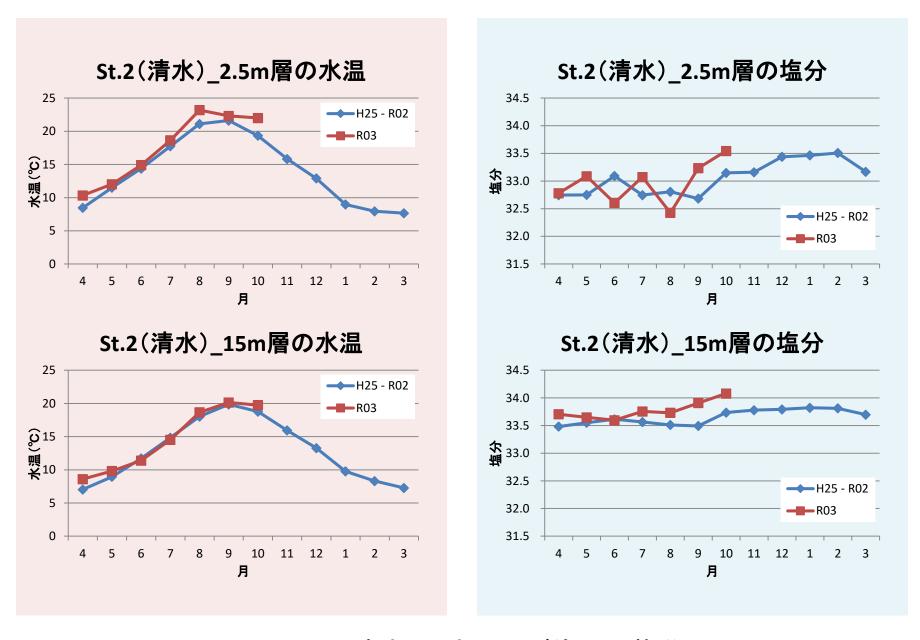


図4 St.2(清水)の水温及び塩分の推移

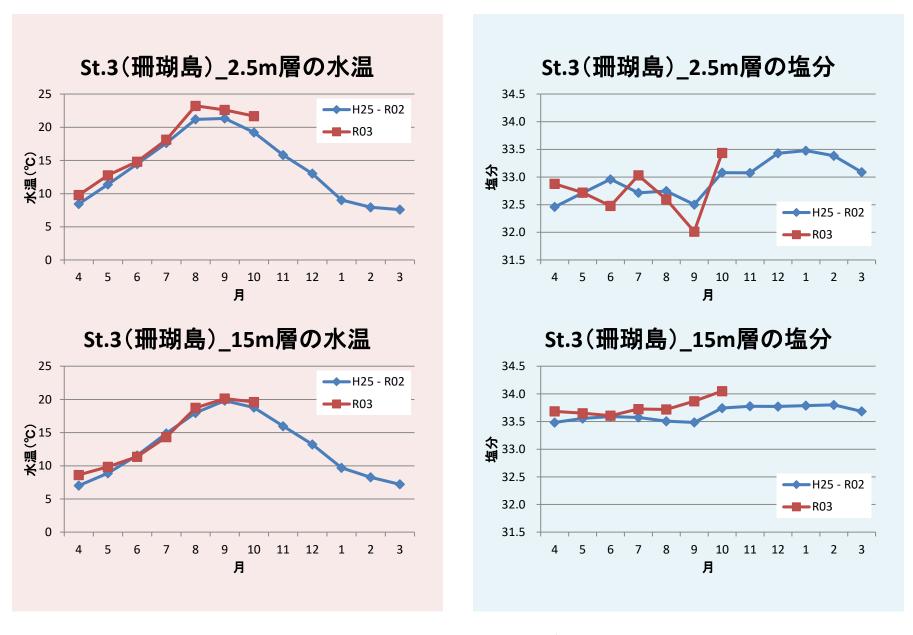


図5 St.3(珊瑚島)の水温及び塩分の推移

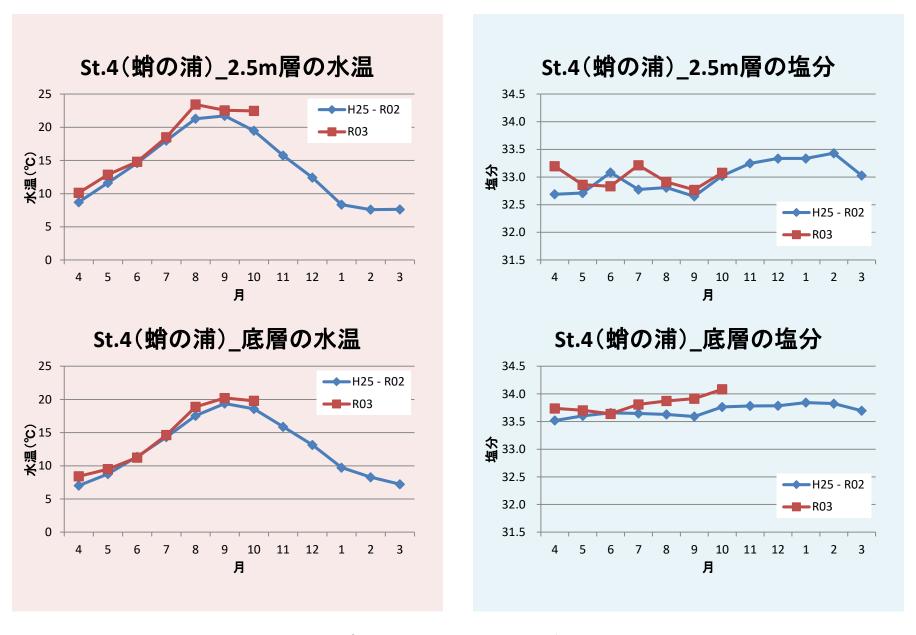


図6 St.4(蛸の浦)の水温及び塩分の推移

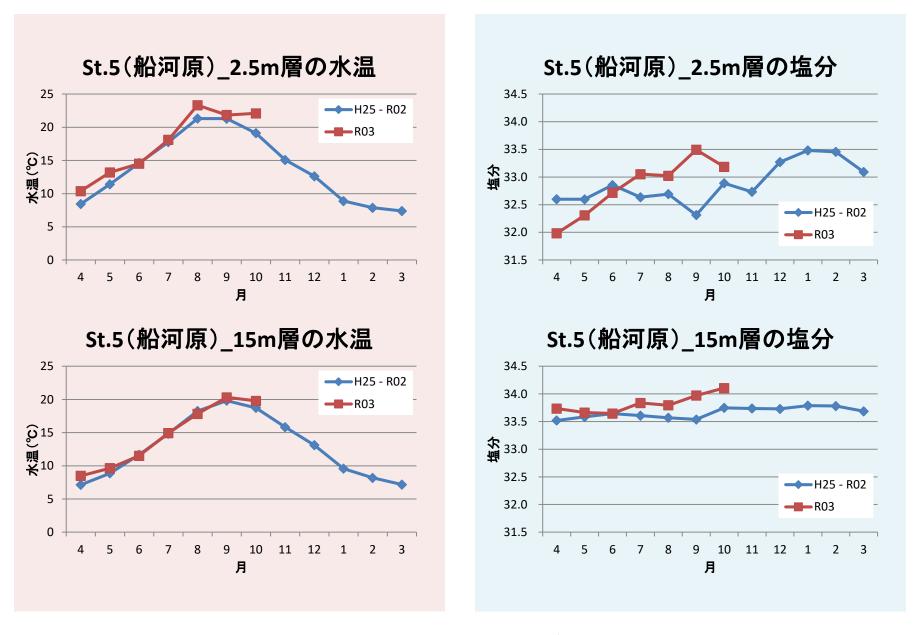


図7 St.5(船河原)の水温及び塩分の推移

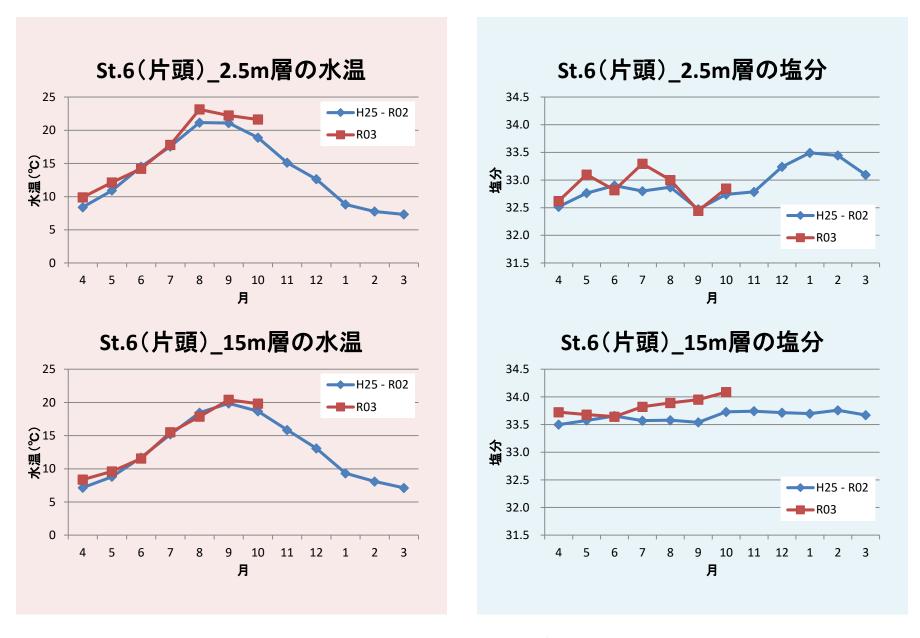


図8 St.6(片頭)の水温及び塩分の推移

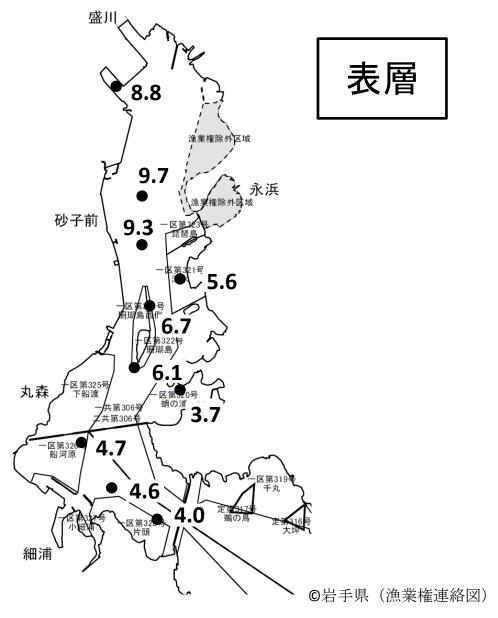


図9 表層のクロロフィル量

※水質計で測定した値であり、正確な濃度ではありません。湾内の相対的な比較としてご利用ください(月をまたいでの比較はできません)。

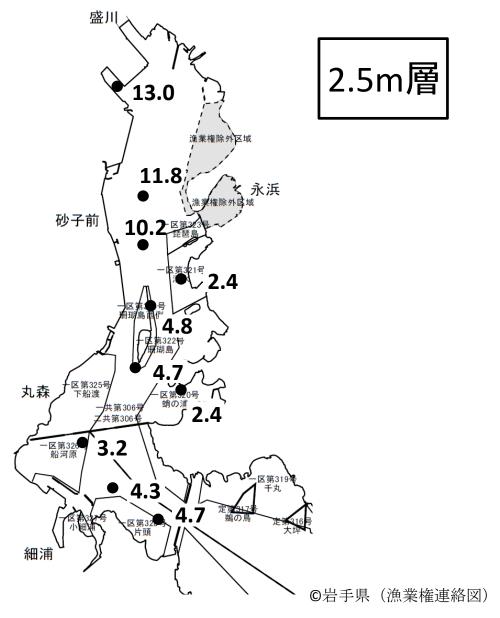


図10 2.5m層のクロロフィル量

※水質計で測定した値であり、正確な濃度ではありません。湾内の相対的な比較としてご利用ください(月をまたいでの比較はできません)。

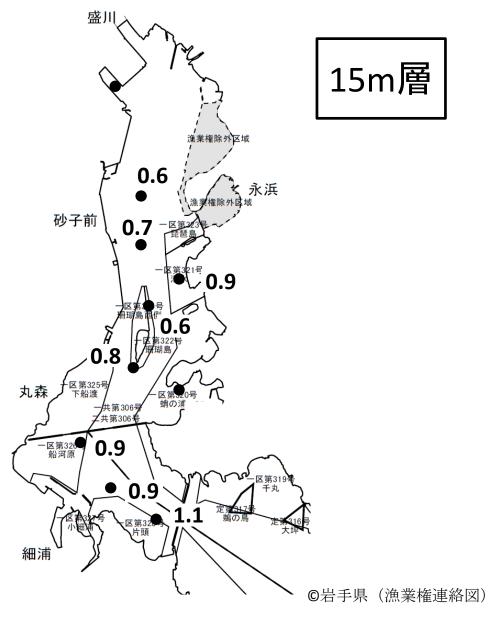


図11 15m層のクロロフィル量

※水質計で測定した値であり、正確な濃度ではありません。湾内の相対的な比較としてご利用ください(月をまたいでの比較はできません)。St.1及び4は水深15m未満でした。